夕焼け

春日井市立西部中学校
進路通信　第 32 号
2026 年 11 月 2 日 発行

合唱コンクールから未来へ

赤学年最後の合唱コンクールが終わりました。最優秀賞をめざして創り上げてきた合唱、どのクラスも心に響く素敵な合唱でした。そして、赤学年のみんなの成長を感じる合唱でした。練習の中で、クラスみんなで悩んだり、想いをぶつけ合ったりすることもあったと思いますが、そのひとつひとつがかけがえのない思い出です。合唱コンクールで感じた思いや経験をこれからの未来につなげていってくださいね。

さて、これから本格的に進路と向き合う時期になります。ここから先はこれまで以上に、壁にぶつかって悩んだり、自分の選択に自信をもてなくなったりすることがあるかもしれません。うまくいかない時こそ、「迷い立ち止まった自分自身も信じていたいな」と思える心のゆとりが大切です。悩んで立ち止まるのは、あなたが自分の夢に本気で向き合っている証です。「どんなにがんばったって うまくいくわけじゃないけど 夢は描いた人しか かなえられない」です。自分の夢を叶えるためにこれまで以上に自分と向き合い、悔いのない進路選択をしましょう。「人生の全てに意味があるから 恐れずにあなたの夢を育てて」くださいね。

受験や進路選択の中で、うまくいかなくて落ち込んだり、まわりと比べてあせったりすることもあるかもしれません。真剣にやればやるほど心に負荷がかかるものです。しかし「いま君のいる世界が辛くて泣きそうでも それさえもプレゼントだったと笑える日が必ずくる」はずです。つらかったことや悔しかったことも、あとでふり返ってみれば自分を成長させてくれる大切な経験になります。あきらめずに乗り越えてよかったと心から笑える日がきっときます。まわりにいる人の力を借りながら前に進んでいきましょう。

中学校を卒業するとそれぞれちがう道を歩んでいくことになります。慣れ親しんだ赤学年の仲間や先生とこの西部中学校で過ごせるのもあと４か月ほどしかありません。ここからは進路や受験であわただしく毎日が過ぎていくことになりますが、あたりまえにある今の環境に感謝して、この赤学年で「ともに過ごした日々を胸に抱いて」「未来という果てしない空へ」羽ばたけるように準備していきましょう。「明日へと続く不安げな空に 色鮮やかな虹が架かっている」ように、悩んだり迷ったりした先にはきっと希望に満ちた素晴らしい景色が待っています。素敵な未来に向けて、今の自分にできることを大切にしていきましょう。

体育祭と合唱コンクール、赤学年のみんなのたくさんの悔し涙と嬉し涙をみました。それだけ本気で取り組んできたってことだと思います。自分の好きなことに夢中になること、仲間と一つのものを創り上げること、今この瞬間にしかできないことに挑戦すること。中学校生活はあと４か月しかありませんが、４か月あればやれることもたくさんあるはずです。進路選択も学校生活も悔いの残らないようにやり切りましょう。『いつかこの涙が』自分を強くする糧になり、これからの未来を明るく照らす光になってくれるはずです。赤学年のみんなが希望する進路を実現できるように、赤学年の先生たちは全力でサポートしていきます。

